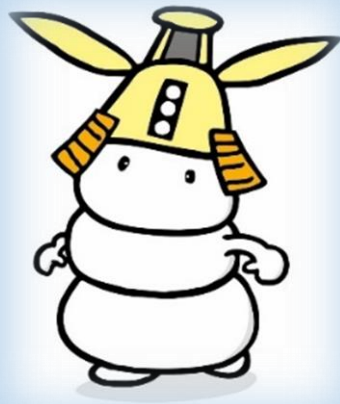


外国人集住都市会議 津会議2017

三重・滋賀・岡山ブロック



津市長 前葉 泰幸

Yasuyuki Maeba

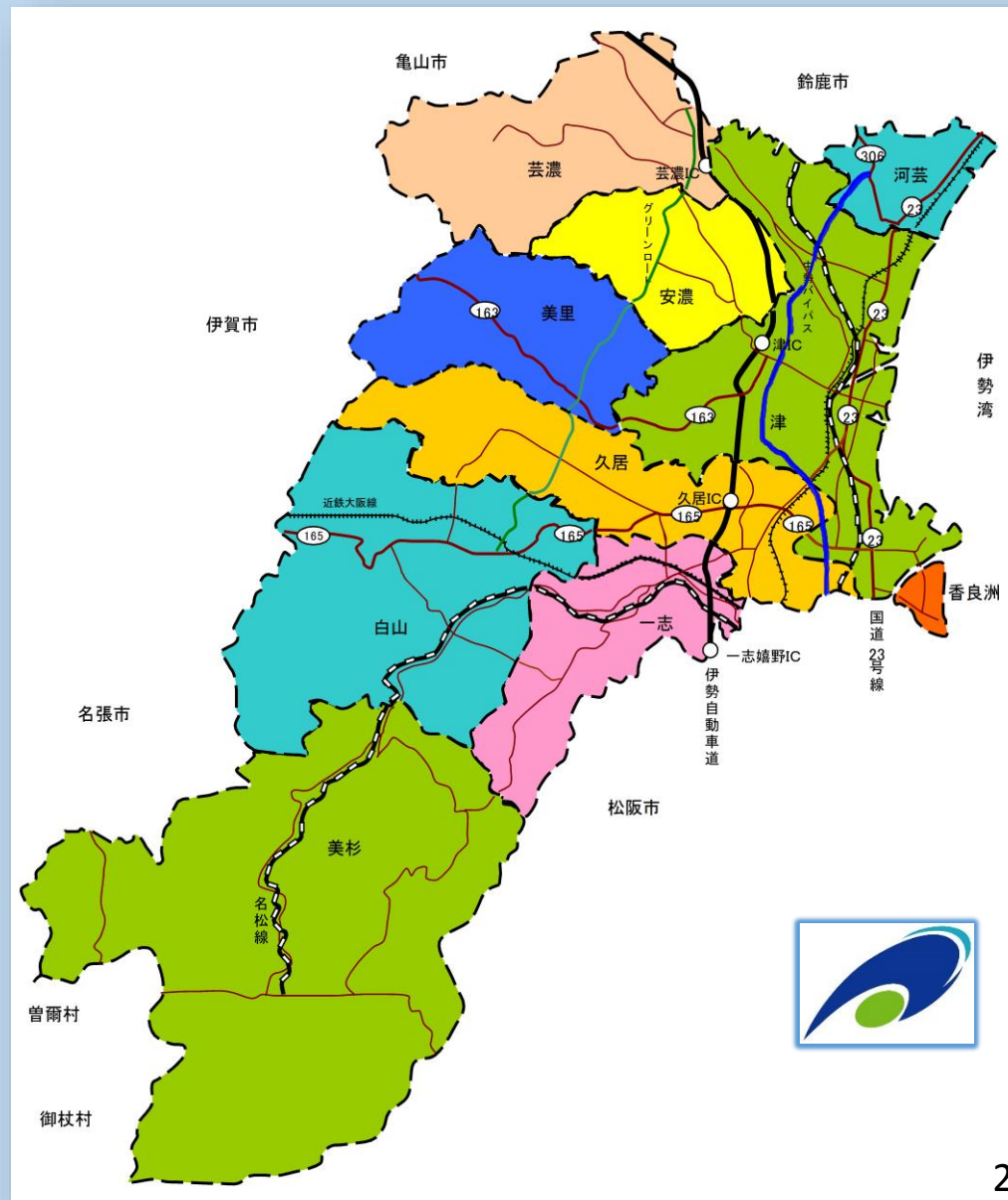
津市における平成の大合併

平成18年1月1日、10市町村の
新設(対等)合併により誕生

10市町村以上の合併

- ・平成11年4月1日～平成26年4月5日
- ・全649市中9市

県名	合併期日	市名	形態	対象 市町村数
新潟県	H17.1.1	上越市	編入	14
新潟県	H17.3.21	新潟市	編入	13
愛媛県	H17.1.16	今治市	新設	12
静岡県	H17.7.1	浜松市	編入	12
三重県	H18.1.1	津市	新設	10
新潟県	H16.3.1	佐渡市	新設	10
岐阜県	H17.2.1	高山市	編入	10
宮城県	H17.4.1	栗原市	新設	10
熊本県	H18.3.27	天草市	新設	10



津市の概要

位 置

日本のほぼ中央に位置する三重県の県庁所在地

人 □:281, 014人(124, 955世帯)

【平成29年10月1日現在】

面 積:711.11平方キロメートル

※シンガポールの国土面積とほぼ同じ大きさ



(国際交流)姉妹・友好都市提携

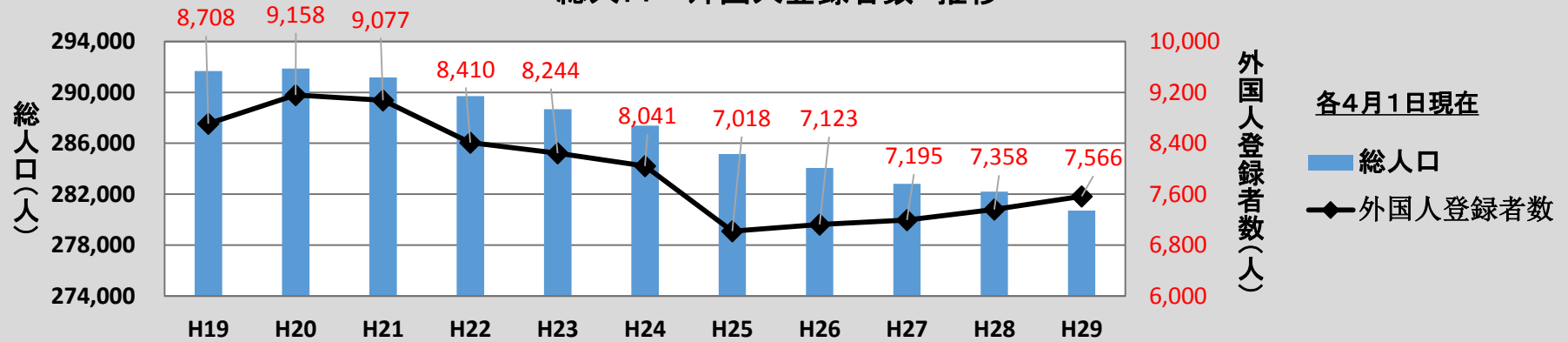
ブラジル・オザスコ市(1976年10月)

中国・江蘇省鎮江市(1984年6月)



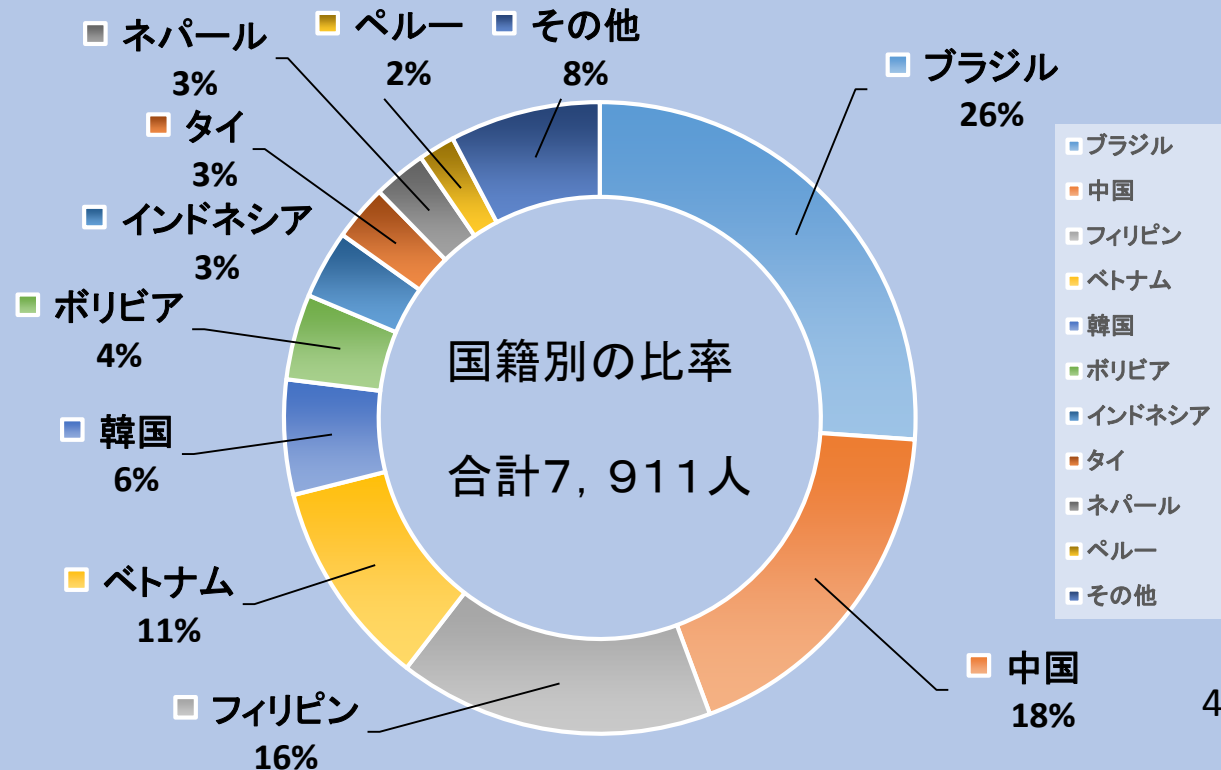
津市の外国人住民の状況

総人口ー外国人登録者数 推移



総人口 281,014人
外国人人口 7,911人
外国人比率 2.8%
国籍数 76か国

【平成29年10月1日現在】



国際化社会への対応

外国人住民に対する日本語教育の推進

外国人住民に対する行政サービスの充実

産業・経済のグローバル化への対応など

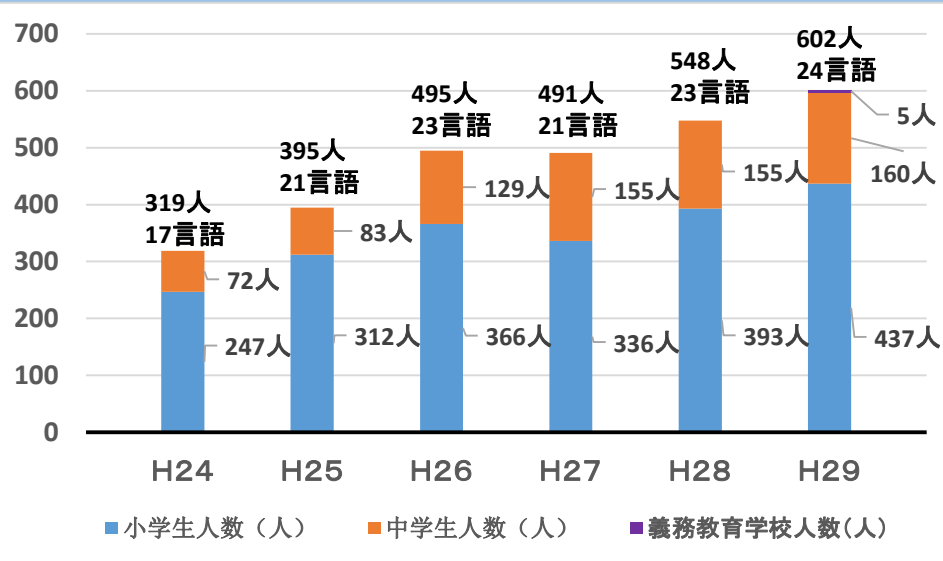
国際化社会に対応するには、国際感覚を備え、豊富な経験・人脈を併せ持つ人材が求められている

市職員（元国際・国内交流、多文化共生担当）を一般財団法人自治体国際化協会へ平成28年度より派遣し、現在、同協会ロンドン事務所にて勤務中

人材を活用し、国際化社会へ対応した市政の推進を図る

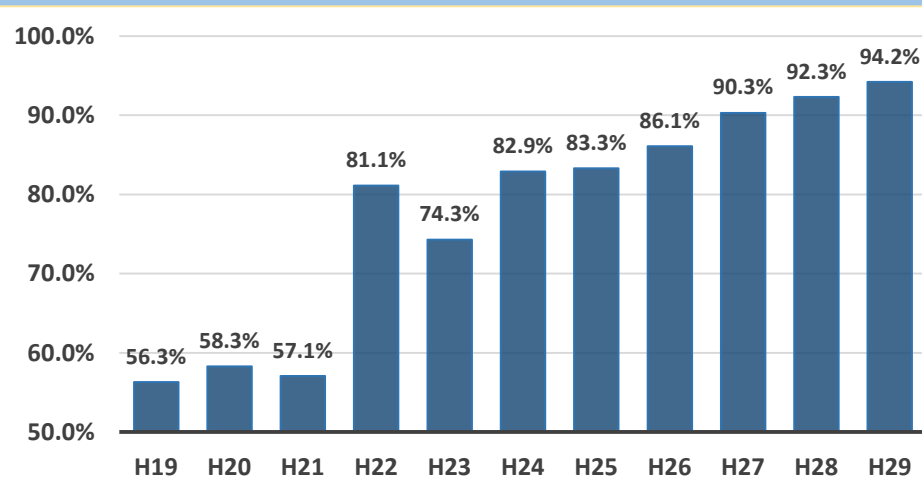
津市の外国につながる子どもの教育への取組

日本語指導が必要な外国につながる児童生徒数の推移



高等学校等進学状況の推移

各年5月調査



各年3月調査

①きずな教室(「話す」「聞く」「読む」「書く」)

津市版初期日本語指導カリキュラムを活用し、日本語指導ボランティアの協力によりマンツーマンによる日本語を指導(基本期間3~4カ月、延長可)

②移動きずな教室

きずな教室に通級できない児童生徒を対象に、直接学校に訪問しての個別指導

③日本語能力測定方法の活用

津市版日本語能力把握スケールを活用し、児童生徒の日本語能力レベルを判定・把握

④巡回指導員(臨時職員)・母語支援協力員(有償ボランティア)の派遣

母語による初期適応指導、日本語指導、配布物の翻訳、学校と保護者との連絡調整など

⑤就学ガイダンス・高校進学ガイダンス

「学校へ行こう! in津市」実行委員会による就学ガイダンス・高校進学ガイダンスを実施し、小学校への入学や高等学校への進学をサポート

多くのボランティア等が事業に協力

【事例紹介】きずな教室

きずな教室

毎週(月～金 9:00～11:15)実施

授業	時間	内容
朝の会	9:00～9:10	
1 限	9:10～9:55	日本語学習 「話す」「聞く」中心の学習
2 限	10:00～10:45	日本語学習 「読む」「書く」中心の学習
3 限	10:45～11:05	「きずな」タイム 日本の生活についての学習
帰りの会	11:05～11:15	

通級できない児童生徒は？

移動きずな教室

きずな教室ボランティア登録者数の推移

H24	H25	H26	H27	H28	H29
30人	66人	51人	62人	64人	62人

原則、個別指導！



国への投げかけ

外国人住民の日本語学習に対する国の支援は拡充されてきたが、基本的には、自治体レベルで行われる日本語教室が学習機会を提供している状況にある。

①外国人住民に対し、日本語学習の機会を保障する制度を導入すると共に、実践的な日本語教育の標準カリキュラムと能力判定方法の確立をお願いしたい。

②ボランティア講師の人材確保に加え、職業としての日本語教師の養成と活用を制度的に行えるような体制づくりをお願いしたい。